

## 男女の人権が尊重された

### 活力ある男女共同参画社会・埼玉の実現を目指して

## 埼玉県知事 上田清司



埼玉県は、現在、720万人を超える県民の皆様が暮らしていますが、今後人口の減少とともに、全国で最も速いスピードで高齢化が進むことが予想されています。社会の活力を維持・拡大していくためには、男女を問わずあらゆる人々がさまざまな分野において能力を発揮し活躍することが不可欠となります。

私は、女性がその才能を十分に発揮し社会に参画していくことが社会に大きな活力を生み出す力になると考え、埼玉版ウーマノミクスを提唱しています。

埼玉版ウーマノミクスは、生産年齢人口の減少や、少子高齢化の進展により社会・経済の停滞が危惧される状況において、女性の社会進出により経済を活性化することを目的とするものです。

しかし、子育てや家事などを男性よりも女性が担っていることが多いという現状が、女性の持つ本来の能力を発揮することができない大きな原因となっています。

このため、県としては、多様な働き方を進めるなど女性が働くための条件を整備するとともに、経済団体などとも連携し、女性の社会進出を進める取組を行っていきたいと考えています。

こうした新たな取組をはじめ、全庁的な男女共同参画関連施策の実施により、男女が共に理解しあい、共に支え合う、いきいきとした地域社会を築けるよう、全力で取り組んでまいります。

この年次報告は、埼玉県男女共同参画推進条例に基づき、本県における平成22年度の男女共同参画の推進状況及び推進に関する施策の実施状況を明らかにするものです。

男女共同参画を推進していくためには、県民一人一人の皆様にも男女共同参画について理解し実践していただくことがとても重要です。

本書が男女共同参画についての理解と関心を深めていただくきっかけとなり、家庭や職場、地域など身近なところから、男女共同参画社会づくりに向けた取組が一層進められることを心から期待します。